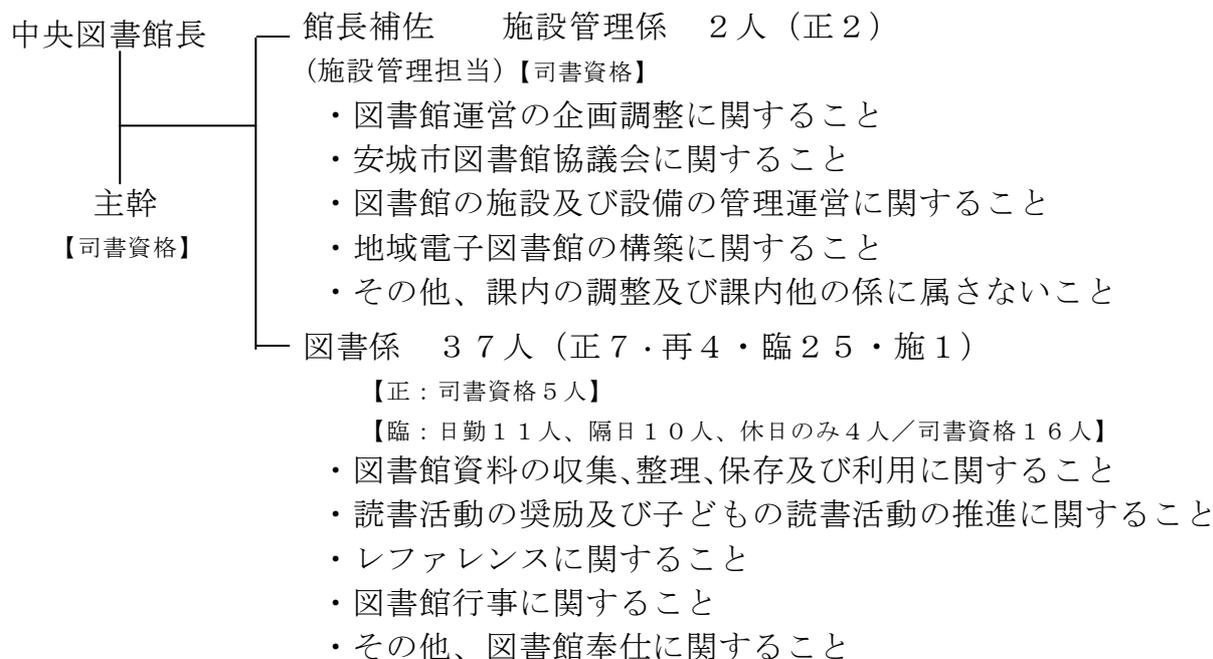


議題（2）平成24年度の利用状況等について

- 1 図書館組織図 職員数 42人（平成25年4月1日現在）  
 正：正規職員 12人 臨：臨時職員 25人  
 再：再任用職員 4人 施：施設管理協会職員 1人

※平成21年度から、窓口・配本等の民間委託を廃止し、すべて市臨時職員に変更した。



2 図書資料の状況（平成24年度末現在の蔵書冊数）

H25.3.31 現在	受入	除籍	一般書	児童書	雑誌	A V	合計	館別 比率
中央図書館			324,239冊	120,025冊	10,055冊	11,947冊	466,266冊	70.62%
公民館図書室	桜井		11,953冊	10,416冊	949冊	36冊	23,354冊	3.54%
	南部		7,340冊	7,117冊	381冊	4冊	14,842冊	2.25%
	北部		20,420冊	11,158冊	1,161冊	50冊	32,789冊	4.97%
	西部		8,746冊	6,867冊	597冊	7冊	16,217冊	2.46%
	作野		14,984冊	13,934冊	664冊	47冊	29,629冊	4.49%
	安祥		7,464冊	5,784冊	423冊	1冊	13,672冊	2.07%
	東部		7,488冊	5,950冊	527冊	48冊	14,013冊	2.12%
	二本木		14,799冊	11,362冊	721冊	49冊	26,931冊	4.08%
中部		9,734冊	7,673冊	821冊	38冊	18,266冊	2.77%	
子育て支援			949冊	1,950冊	9冊	5冊	2,913冊	0.44%
保健センター			77冊	746冊	0冊	0冊	823冊	0.12%
秋葉いこいの広場			357冊	94冊	0冊	4冊	455冊	0.07%
24年度計	43,357冊	42,131冊	428,550冊	203,076冊	16,308冊	12,236冊	660,170冊	100%
前年比増減	△2,669冊	+13,185冊	+2,174冊	+82冊	△1,780冊	+750冊	+1,226冊	
歴史博物館	6,509冊	5冊	33,677冊	7冊	2,262冊	0冊	35,946冊	
教育センター	258冊	0冊	8,266冊	1冊	0冊	1冊	8,268冊	

※一般書には郷土資料・大活字本・洋書を含み、児童書には絵本・コミック・洋書絵本・紙芝居を含む。AVはCD・DVDなど。  
 ※「歴史博物館」「教育センター」とは、平成20年1月からコンピュータシステムの更新にあわせて連携した。

## 3 図書館の利用状況

## ア 登録者・実利用者数

区分	個人登録者 合計	実利用者 合計	登録者 実利用率	市内 登録者数	市内 実利用者数	市民 実利用率	市外 実利用者数
24年度末	68,329人	35,686人	52.2%	58,199人	31,308人	17.2%	4,378人
23年度末	63,212人	36,613人	57.9%	53,982人	32,176人	17.7%	4,437人
前年比増減	+5,117人	△927人	△5.7%	+4,217人	△868人	△0.5%	△59人

市民実利用率は、年度当初人口 H23=181,302、H24=182,233 人による。

## イ 平成24年度の貸出延べ利用者数

区分	個人児童 (0～15歳)	個人青年 (16～22歳)	個人壮年 (23～59歳)	個人高齢 (60歳以上)	団体	合計	館別 比率	1日平均 利用者数
中央図書館	45,846人	10,185人	126,358人	46,976人	1,695件	231,060人	53.0%	800人
公民館等	47,332人	6,306人	117,487人	33,083人	960件	205,168人	47.0%	710人
24度計	93,178人	16,491人	243,845人	80,059人	2,655件	436,228人	100%	1,510人
前年比増減	△2,915人	△448人	△7,307人	△1,024人	309件	△11,385人		△39人

※公民館等は、公民館9館と子育て支援センター（H23.1.31開設）及び保健センター「赤ちゃんえほんかしだし隊」の合計。

## ウ 平成24年度の貸出冊数

区分	個人 一般書	個人 児童書	個人 雑誌・AV	団体	合計	館別 比率	1日平均 貸出冊数	
中央図書館	577,973冊	395,799冊	132,813冊	53,467冊	1,160,052冊	59.2%	4,014冊	
公民館図書室	桜井	43,323冊	30,278冊	3,888冊	1,728冊	79,217冊	4.0%	274冊
	南部	18,753冊	24,707冊	2,712冊	568冊	46,740冊	2.4%	162冊
	北部	86,993冊	85,253冊	10,271冊	1,138冊	183,655冊	9.4%	635冊
	西部	15,925冊	16,873冊	2,026冊	186冊	35,010冊	1.8%	121冊
	作野	83,424冊	69,569冊	8,058冊	1,480冊	162,531冊	8.3%	562冊
	安祥	10,894冊	9,318冊	930冊	1,486冊	22,628冊	1.2%	78冊
	東部	26,032冊	31,671冊	3,495冊	788冊	61,986冊	3.2%	214冊
	二本木	68,831冊	51,782冊	7,374冊	1,668冊	129,655冊	6.6%	449冊
中部	30,838冊	25,505冊	4,092冊	976冊	61,411冊	3.1%	212冊	
子育て支援	4,181冊	8,569冊	301冊	44冊	13,095冊	0.7%	45冊	
保健センター	219冊	1,069冊	0冊	0冊	1,288冊	0.1%	4冊	
24年度計	967,386冊	750,393冊	175,960冊	63,529冊	1,957,268冊	100%	6,773冊	
前年比増減	△23,682冊	△32,668冊	△11,445冊	+1,816冊	△65,979冊		△227冊	

※一般書には郷土資料・洋書・大活字本を、児童書には絵本・紙芝居・コミックを含む。雑誌・AVは雑誌とCD・DVDの計。

※保健センターとは、毎週水曜日の4か月児健診時「赤ちゃんえほんかしだし隊」での貸出冊数。

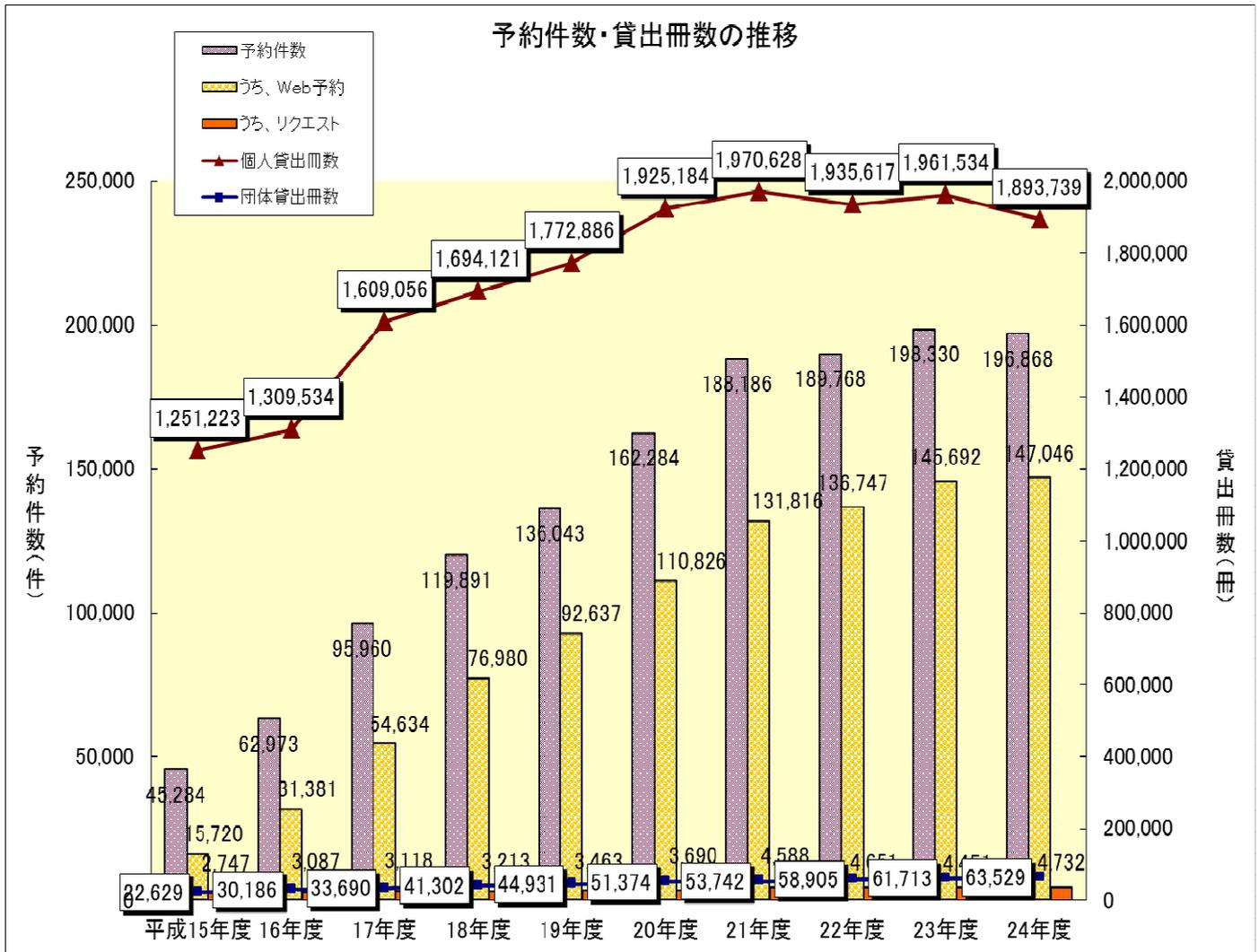
## エ 平成24年度の予約件数

区分	窓口受付	OPAC 受付	Web 受付	合計	館別 比率	開館 日数	1日平均 予約件数	
中央図書館	19,395件	12,549件	46,035件	77,979件	40.2%	289日	270件	
公民館図書室	桜井	1,509件	0件	10,350件	11,859件	6.4%	302日	39件
	南部	1,017件	0件	5,552件	6,569件	3.2%	304日	22件
	北部	3,214件	0件	21,419件	24,633件	12.5%	304日	81件
	西部	1,108件	0件	3,826件	4,934件	2.5%	302日	16件
	作野	2,924件	0件	22,691件	25,615件	12.3%	304日	84件
	安祥	420件	0件	2,761件	3,181件	1.5%	302日	11件
	東部	1,819件	0件	8,403件	10,222件	5.1%	302日	34件
	二本木	2,505件	0件	17,642件	20,147件	10.2%	302日	67件
中部	3,256件	0件	5,236件	8,492件	4.7%	302日	28件	
子育て支援	106件	0件	3,131件	3,237件	1.4%	295日	11件	
合計	37,273件	12,549件	147,046件	196,868件	100%	—	681件	
区分別比率	18.9%	6.4%	74.7%	Web(再掲)	74.7%	365日	403件	

※Webとはパソコン・携帯電話でのインターネット予約。パソコンは平成15年4月、携帯電話は翌16年4月運用開始。

※OPACとは利用者自身で資料検索・予約などができる館内蔵書検索機（中央図書館のみに5台設置）。

○最近の10年間で、予約件数は年間4.5万件から19.7万件で約4.4倍に、個人貸出冊数は年間125万冊から189万冊で約1.5倍になっています。



※平成24年度市民1人あたり総貸出冊数 10.7冊 (23年度: 11.1冊)

※平成24年度市民1人あたり個人貸出冊数 10.4冊 (23年度: 10.8冊)

(各指標の人口比率は、年度当初人口 H23=181,302人、H24=182,233人による)

(注: 市民1人あたり個人貸出冊数の県内及び全国比較をする場合の人口は、外国人登録者数を除いた住民基本台帳人口で算出するため数値が少し高くなります。)

平成24年度の総貸出冊数は「200万冊弱」で推移しています。入館者数・貸出冊数はやや減少傾向ですが、予約にしろるWEBの割合・団体貸出が増加しました。

オ 中央図書館の入館者数

区分	入館者	開館日数	1日平均	平日平均	土日祝平均	1日2000人超
24年度	408,854人	289日	1,415人	1,198人	1,746人	25日
23年度	429,219人	289日	1,485人	1,284人	1,795人	33日
前年比増減	△20,365人	±0日	△70人	△86人	△49人	△8日

4 地域電子図書館構築事業

ア 利用者パソコン席・持込パソコン席

利用者パソコン席は1階のPCコーナーに3台、2階の郷土参考資料室に2台設置、持込席は1階のPCコーナーに2席設置し、無料開放している。（30分単位で1回90分まで）。

区分	利用人数	1日平均	利用回数	1日平均	利用率
24年度	3,679人	12.7人	5,044回	17.5回	16.6%
23年度	4,479人	15.5人	6,368回	22.0回	21.0%
比較増減	△800人	△2.8人	△1,324回	△4.5回	△4.4%

イ 地域資料のデジタル化

図書館所蔵の行政資料、郷土資料をデジタル化し、その一部を図書館ホームページで公開している。

デジタル画像（写真）H18～H22 実施

区分	資料数	画像数
行政関係	27冊	1,442点
古書	6冊	439点
古地図	19冊	37点
災害関係	23冊	407点
日本デマーク関係	88冊	12,397点
民声新聞	879冊	3,330点
合計	1,042冊	18,052点

PDF（電子文書）H24 実施

区分	資料数	備考
行政資料	6冊	総合計画等
（冊子）	49冊	安城の統計
（冊子）	21冊	市勢要覧
（パンフレット）	67冊	七夕まつり
地域資料	70冊	各町内史等
	89冊	人物等
合計	302冊	

5 平成24年度の読書活動推進事業

区分	回数	のべ参加人数
①公立幼稚園・保育園全27園への出前おはなし会	444回	11,755人
②公立幼保以外への出前おはなし会（赤ちゃんサロン含む）	42回	1,382人
③定例おはなし会	132回	3,391人
④一般向けおはなし会・ブックトーク	22回	217人
⑤こども向け行事（人形劇・手作り紙芝居教室他）	4回	151人
⑥赤ちゃんえほんかしだし隊	48回	344人
⑦子どもの本に関する講座（保護者・ボランティア向け）	39回	620人
⑧除籍本リサイクル・安祥文化のさとまつり・こどもまつり	9回	4,248人
⑨図書館友の会行事（みんなのひろば・郷土の美術展・選書）	25回	5,716人
⑩職場体験学習・教諭研修の受入	20回	39人
⑪新美南古関係（絵本大賞啓発事業・出前授業）	15回	1,256人
⑫新図書館情報館関係（講演会・ワークショップ）	4回	122人
合計	804回	29,241人

○ 図書館ボランティアの状況

ア 読み聞かせボランティア

- ・ 中央図書館拠点・・・7団体、105人
- ・ 公民館拠点・・・・・・8団体、79人

（生涯学習課との連携で、「読み聞かせボランティア養成講座」を計画的に開催）

イ 図書館友の会

- ・ 中央図書館拠点・・・1団体、35人

ウ 合計 16団体、219人

## 平成24年度 重点目標【検証】

生涯学習の一拠点として、より多くの市民に親しまれ、市民生活に根をおろした図書館を目標に、「安城市図書館推進計画」に基づき、図書館サービスの充実と図書館活動の推進をより一層積極的に図ります。

- ①-1 総貸出冊数の目標を、23年度実績202万3,247冊を上回る203万冊とします。
- ①-2 個人貸出冊数の目標を、23年度実績196万1,534冊を上回る197万冊とします。
- ①-3 「市民実利用者」は、3万2,000人以上を目指します。
- ② 安城らしい「地域電子図書館」を構築するため、緊急雇用創出事業基金を活用した行政資料等のデジタルアーカイブ化を全庁的に連携して計画的に進めます。
- ③ 「第2次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を一層の推進するとともに、安城版ブックスタート準備のための「新美南吉絵本大賞」の公募、審査を行います。
- ④ 中心市街地拠点施設における「新図書館」整備の準備を、引き続き、市民等の意見を聴取しながら関係各課の連携により推進します。

- ①年間貸出冊数は、
- (1)総貸出冊数  
約195万7,268冊
- (2)個人貸出冊数  
約189万3,739冊  
であり、前年実績、目標に届かず
- (3)市民実利用者数も若干減少傾向  
(H24年度)31,308人  
前年比-868人  
(H23年度)32,176人  
前年比+78人  
(H22年度)32,098人  
前年比+1,370人  
(H21年度)30,728人

- ②デジタル化は、行政資料143冊(総合計画等6冊、安城の統計49冊、市勢要覧21冊、七夕まつり67冊)、地域資料159冊(各町内史等70冊、人物伝等89冊)を、文書のPDF化として実施した。
- ③第2次子ども読書推進計画に基づき、(1)公立幼・保全27園での出前おはなし会を実施した。
- (2)安城版ブックスタートの準備として、新美南吉絵本大賞を創設し、南吉絵本を刊行するため、全国公募をして作品を募り大賞を決定し、刊行準備をした。
- ④新図書館の整備水準策定に向けて、ワークショップ(ソフト面)を開催するなど準備を進めた。

## 平成25年度 重点課題

中心市街地拠点施設への中央図書館の移転整備が、情報拠点施設として平成26年度着工で29年6月開館予定です。このため24年度に中心市街地拠点整備事業計画及びPFI法に基づく特定事業の選定を公表しました。

25年度に事業者募集要項を公表し、最優秀提案者を選定して事業契約締結をします。

平成23年4月に作成した第2次安城市子ども読書活動推進計画を鋭意推進します。25年8月ブックスタート事業開始にあたり、新美南吉絵本大賞作品を印刷製本して、通常の赤ちゃん向け絵本とともに活用します。

地域電子図書館構築に向けた地域資料及び行政資料のデジタル化を推進します。

新図書館整備準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新図書館整備準備のため</li> <li>②中心市街地拠点整備における特定事業の選定公表を行い、募集要項を公表して業者選定をします</li> <li>③新図書館での図書館サービスを研究します。</li> </ul>
子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもの読書活動を推進するため</li> <li>②第2次安城市子ども読書活動推進計画に基づき、市民協働及び関係機関との連携を図ります</li> </ul>
新美南吉の顕彰とブックスタート事業開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新美南吉の顕彰と安城版ブックスタート事業開始のために</li> <li>②新美南吉絵本大賞作品の絵本化を行い、ブックスタートボランティア養成とともに、保健センターと連携を図ります</li> </ul>
電子図書館構築の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域資料及び行政資料のデジタル化を推進するため</li> <li>②各課と連携を図り、デジタル資料の登録公開システムを構築します</li> </ul>